

夢は枯野を

競輪躁鬱旅行

伊集



競輪躁鬱旅行

夢は枯野を
伊集院
静

夢は枯野を——競輪躁鬱旅行

1993年3月18日 第1刷発行

著者 伊集院静

発行者 野間佐和子

発行所 株式会社講談社

東京都文京区音羽二一二二／郵便番号一二二
電話

文芸図書第一出版部(〇三)五三九五—三五四

書籍第一販売部(〇三)五三九五—三六一
書籍製作部(〇三)五三九五—三六一五

印刷所 豊国印刷株式会社
製本所 黒柳製本株式会社



落丁本・乱丁本は小社書籍製作部あてにお送りください
送料小社負担にてお取替えいたします。なお、この本に
ついてのお問い合わせは文芸局文芸図書第一出版部あて
にお願いたします。

定価はカバーに表示してあります。

本書の無断複写(コピー)は、禁じられています。

© Shizuka Ijuin 1993, Printed in Japan

伊集院静 1949年2月9日、山口県
防府市に生まれる。立教大学文学部卒。
著書には絶賛を博した第一作品集『三
年坂』(講談社刊)をはじめ、『海峡』
(新潮社刊)、『乳房』『峠の声』『白秋』
(ともに講談社刊)、直木賞受賞作『受け
月』(文芸春秋刊)等がある。

目次・夢は枯野を

7	6	5	4	3	2	1	
大津琵琶湖	弥彦	立川	松山	愛知・一宮	平塚	小倉	I
71	61	53	43	33	23	11	

13	12		11	10	9	8
ふたたび小倉	香川・観音寺	II	岸和田	防府	青森	函館
.....						
141	121		109	99	88	79

21	20	19	18	17	16	15	14
前橋	ふたたび弥彦	ふたたび琵琶湖	佐賀・武雄	横浜・花月園	伊東	奈良	福井
.....							
316	294	272	250	229	206	183	162

	24	23	22
夢は枯野を……………	ふたたび一宮……………	静岡……………	ふたたび防府……………
404	382	359	337

夢は枯野を——競輪躁鬱旅行

I

1 小倉

競輪が面白い。

近頃、全国のどの競輪場もたいへんな熱気である。第二期黄金時代を競輪が迎えているのでは、との声もある。

近代競輪になって、競走のスピードがまるで違ってきた。スポーツとして観戦しても迫力は抜群である。加えて一昨年の平均配当が1800円台と、ギャンブルの面白味という点から見ても実に醍醐味にあふれている。車券を手に、ゴール前を一瞬の内に九人の選手がなだれ込む瞬間は、身体の芯のようなところをゆさぶられるのがわかる。こんな快感は

今の世の中でそうは味わえるものではない。

ギャンブルは怖い。ギャンブルは墮^おちる。確かにその通りだ。そうなった仲間も人間も見てきた。しかしその仲間が不運で、不幸であつたか？ と考えると、私はそうは思わない。世間にはギャンブルでなくてもそれよりもっとひどい目に遭^あう人はいくらでもいる。石橋を叩くようにして慎重に生きる、それを悪いとは言わない。そういう時期も必要であろう。しかしこの世に確実なもの、確かなものは何もない、と私は思っている。だからと言つて敢えて乱に踏み込む、ギャンブルにそれを求めると言うのではない。遅かれ早かれ独りの人間が生きて死ぬまでには、大きなゆさぶりの一つや二つ必ずやつてくる。第一、このまま世間^{せけん}がこの状態で行くわけなぞない。

ギャンブルは紀元前から生れて、しかも絶えたことは一度もない。なぜギャンブルをするのか？ これは愚問である。ギャンブルをやつてみて初めて見る事のできる自分の姿は間違ひなくある。ギャンブルに上下はない。あるのは類、系、派、面……、ヨコの関係だけである。無数にあるギャンブルの中からなぜ競輪をすすめるのか。それは人間の匂いが一番するからである。それも嗅覚を強烈に刺激する博打^{ばくち}であるからだ。自分ではない人間

を買い、人間に賭けるゲームは、寛容と残虐を兼ね合わせた高等ゲームであろう。一度競輪の面白さを知ったらまず病気になると思われている。

これより一年、競輪の旅に行かせて頂く。勝つても負けても躁の饗宴、鬱の狂宴と思っている。まず旅の前夜として、競輪の、いやギャンブルの大先輩である阿佐田哲也さんに、若者の地獄への旅の心得をお聞きしよう。

伊集院静（以下伊） いろんなギャンブルをなさってこられて、近頃、麻雀は別として、競輪の方にしぼられているような……。

阿佐田哲也（以下阿） しぼったと言うより、また元に帰りつつあるんでしょうね。

伊 競輪の魅力というのはどの辺りにあるのでしょうかね。

阿 競輪は奥が深いところがあるね。今やり出す人は、初期の素朴なレースから進化してきた途中から見ると説明もむずかしい。競馬みたいに一頭ずつ独立して走るのとは原理が簡単だからね。競馬が中学くらいだとすると、競輪は大学じゃないかな。

伊 じゃあ大学をめざす浪人生にすすめたい。

阿 でも、推察とか考える部分が多いとかいうのは、入門者には何の説得力も持たない。

伊 競輪を始める第一歩としては。

阿 まず見^ミだね。どのバクチもケンが大切なんだけど、競輪の場合は特にレースを見て、競輪特有のゲームの感覚を掴むことが大切だと思うね。何十年競輪やつてもバクチでケンの大切さは痛切に感じるよ。

伊 おっしゃる通りですね。他には？

阿 競輪は一日ではなく三日間の勝負で選手の勝敗が決まるシステムだから、三日間通つてみるのをすすめるね。そうすると印象に残る選手が必ず見つかるものですよ。

伊 ギャンブルは型に持ちこむのが上達のコツだと思うんですが。例えば、最近、麻雀を若い人と打つたりすると、確率に関して頭は働くけれども、この型に持ちこまれたらヤバイな、というのが少ないですね。

阿 誰かが教えるのは確率じゃないかと思う。その先は一人一人が道を見つけていかなきゃ駄目だね。確率の定義みたいなものはあるけど、やっぱり一瞬一瞬は別に確率と違うからね。一人で道を見つけていくのが面白いと感じる人と、最後まで教えてくれなきや困る